

○消防庁告示第 号

消防法施行規則（昭和三十六年自治省令第六号）第三十一条の三第五項の規定に基づき、平成元年消防庁告示第四号（消防用設備等試験結果報告書の様式）の一部を次のように改正する。

令和七年 月 日

消防庁長官 大沢 博

次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改める。

別記様式第5 泡消火設備 ④

別記様式第5 [同左]

試験項目		種別・容量等の内容	結果
試験	自動警報装置	音響警報装置 火災表示装置	—
	防護区画の開口部 (高発泡に限る。)	開口部の措置	—
		自動閉鎖装置を設けない開口部	—
	貯蔵槽等	開口部の構造	—
		設置場所	—
		消火剤の適合性	—
		機器貯蔵量	L
		圧力計の指示	MPa
	混合装置	設置場所	—
		混合方式	—
観察	泡消火薬剤	種（型式番号）別	たん白・合成界面活性剤・水成膜 (泡第 ～ 号)
		性能	希釈容量濃度 %
	耐震措置	設置	—
		設置場所	—
	泡消火栓	設置個数	—
		設置場所	—
	泡消火栓	周囲の状況・操作性	—
		開閉弁設置高さ	m
	泡消火栓等	周囲の状況	—
		設置状況	—
試験	泡消火栓箱	材質等	—
		表示灯	—
	表	示	—
		ホース（結合金具を含む。）	—
	ホース接続口	ホース接続口	—
		ノズル	—
	結合状態	結合状態	—
		収納状態	—
	ホース・ノズル	ホース・ノズル	—
		収納状態	—

試験項目		種別・容量等の内容	結果
試験	自動警報装置	音響警報装置 火災表示装置	—
	防護区画の開口部 (高発泡に限る。)	開口部の措置	—
		自動閉鎖装置を設けない開口部	—
	貯蔵槽等	開口部の構造	—
		設置場所	—
		消火剤の適合性	—
		機器貯蔵量	L
		圧力計の指示	MPa
	混合装置	設置場所	—
		混合方式	—
観察	泡消火薬剤	種（型式番号）別	たん白・界面活性剤・水成膜 (泡第 ～ 号)
		性能	希釈容量濃度 %
	耐震措置	設置	—
		設置場所	—
	泡消火栓	設置個数	—
		設置場所	—
	泡消火栓	周囲の状況・操作性	—
		開閉弁設置高さ	m
	泡消火栓等	周囲の状況	—
		設置状況	—
試験	泡消火栓箱	材質等	—
		表示灯	—
	表	示	—
		ホース（結合金具を含む。）	—
	ホース接続口	ホース接続口	—
		ノズル	—
	結合状態	結合状態	—
		収納状態	—
	ホース・ノズル	ホース・ノズル	—
		収納状態	—

別記様式第 38 特定駐車場用泡消火設備 ④

試 験		項 目	種 別・容 量 等 の 内 容	結 果
自動警報装置	減 圧	音 警 報 装 置	—	
		火 災 表 示 装 置	—	
外 観	泡消火薬剤貯蔵槽	設 置 場 所	有 ・ 無	
		泡消火薬剤の適正貯蔵量	L	
		圧 力 計 の 指 示	MPa	
	泡消火薬剤混合装置	設 置 場 所	—	
		混 合 方 法	—	
		構 造 ・ 性 能	—	
	貯蔵槽	種 別	(泡笥 ～ 号)	
		性 能	希釈容量濃度 %	
	試験等	混合装置弁	—	
		耐 震 指 示 表	—	
制 御 盤	耐 震	設 置 場 所	—	
		周囲の状況・操作性	—	
		設 置 状 況	—	
		構 造 ・ 性 能	—	
		操 作 部	—	
予 備 品 等	耐 震	予 備 品 等	—	

別記様式第 38 [同左]

試 験		項 目	種 別・容 量 等 の 内 容	結 果
自動警報装置	減 圧	音 警 報 装 置	—	
		火 災 表 示 装 置	—	
外 観	泡消火薬剤貯蔵槽	設 置 場 所	有 ・ 無	
		泡消火薬剤の適正貯蔵量	L	
		圧 力 計 の 指 示	MPa	
	泡消火薬剤混合装置	設 置 場 所	—	
		混 合 方 法	—	
		構 造 ・ 性 能	—	
	貯蔵槽	種 別		
		性 能	希釈容量濃度 %	
	試験等	混合装置弁	—	
		耐 震 指 示 表	—	
制 御 盤	耐 震	設 置 場 所	—	
		周囲の状況・操作性	—	
		設 置 状 況	—	
		構 造 ・ 性 能	—	
		操 作 部	—	
予 備 品 等	耐 震	予 備 品 等	—	

備考 表中の「」の記載は注記しあへず。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。